

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5711	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、生徒を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	28,527	28,422	127,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	28,527	28,422	127,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	28,527	28,422	127,000		
	財源合計	28,527	28,422	127,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。

令和元年度までの自己評価または改善点	特になし
--------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5723	担当課等	学校教育課								
事務事業名	普通救命講習会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(3) 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	総合学習の時間で普通救急救命講習会を開催し命の大切さを学ぶ。								
対象	湯河原中学校2年生								
内容	普通救急救命講習会(人口呼吸、AEDの取り扱い等)を開催し、不測の事態に備えられるようにする。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	82,680	77,960	84,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	82,680	77,960	84,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	82,680	77,960	84,000		
	財源合計	82,680	77,960	84,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 総合学習の時間を使い実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 消防本部の協力を得て実施している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受講は2年生全員を対象としている。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5728	担当課等	学校教育課								
事務事業名	生徒用机・椅子・教卓等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(3) 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	生徒用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、生徒が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対象	湯河原中学校								
内容	生徒用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	531,360	531,720	534,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	531,360	531,720	534,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	531,360	531,720	534,000	
財源合計	531,360	531,720	534,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒が使用する机等の更新を図るため必要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現状維持。生徒数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5735	担当課等	学校教育課								
事務事業名	防災備蓄用品購入事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(3) 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	緊急時における生徒の安全確保を図るため、毎年防災備蓄品を順次整備している。								
対象	湯河原中学校								
内容	備蓄用食料、飲料水、防災用備品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	207,036	205,128	206,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	207,036	205,128	206,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	207,036	205,128	206,000	
財源合計	207,036	205,128	206,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 緊急時における生徒の安全確保を図るため実施する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 毎年、防災備蓄品を順次整備している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確保が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 湯河原中学校生徒全員に対して防災備蓄品を整備している。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	防災備蓄用品購入事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現状維持。生徒数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要がある。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5769	担当課等	学校教育課								
事務事業名	図書整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	文部科学省が推進してきた学校図書館整備第5次5ヶ年計画が示されており、今後も引き続き学校図書館の充実を図る。								
対象	学校図書館								
内容	学校図書を購入して充実を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	611,255	669,869	700,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	611,255	669,869	700,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	611,255	669,869	700,000		
	財源合計	611,255	669,869	700,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
図書購入数		図書館の充実	冊			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 蔵書の入替え・充実を図ることで生徒の利用が促進できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 蔵書の入替え・充実を図ることで生徒の利用が促進できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 蔵書の入替え・充実を図ることで生徒の利用が促進できる。
令和元年度までの自己評価または改善点	平成27年3月に図書館システムをリニューアルし、蔵書管理や貸出管理などPCにより可能となった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	図書館の蔵書整備のため、行政として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	生徒の利用促進のため、常に蔵書の充実を図っていく必要がある。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5790	担当課等	学校教育課								
事務事業名	部活動用品整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(3) 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動の充実と技術の向上を図る。								
対象	湯河原中学校生徒								
内容	部活動において使用する備品を整備し充実を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	260,490	145,540	290,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	260,490	145,540	290,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	260,490	145,540	290,000		
	財源合計	260,490	145,540	290,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 部活動の振興を通して、生徒の個性の伸長や人間性の育成を図ることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 毎年部活動用品の整備を行い継続した部活動支援を行うことができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 毎年部活動用品の整備を行い継続した部活動支援を行うことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 生徒・保護者にとっての経済的負担の軽い(機会均等)部活動を推進・充実することができる。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	部活動用品購入事業のため、学校として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	部活動を推進し、充実させるため、部活動用品の整備を図っていく必要がある。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5776他	担当課等	学校教育課								
事務事業名	各種教育振興事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(2) 小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	「教育基本方針」に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を持った児童・生徒の知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を図ります。								
対象	湯河原中学校生徒								
内容	教育研究発表事業、卒業記念講演会開催事業、花いっぱい教育推進事業、特別支援級備品等整備事業、総合的学習推進事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	374,327	511,410	682,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	374,327	511,410	682,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	374,327	511,410	682,000		
	財源合計	374,327	511,410	682,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 教育内容の充実を図るため、事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 教育内容をより充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 教育内容をより充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 全生徒を対象としているため公平性を保っている。
令和元年度までの自己評価または改善点	総合的学習推進事業では、平成14年度より国際理解・情報・環境福祉・健康などこれまでの教科にない総合的な課題についての学習活動が行われている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	特になし	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	常に時代に合った内容の、講演、研修その他の事業を実施し、児童の豊かな心を育ていく。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	4700	担当課等	学校教育課								
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策										
予算科目コード	会計	001	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の推進	10 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進します。								
対象	湯河原中学校の生徒及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備します。 学校休業期間期間中の児童生徒等を支援します。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費			2,843,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	0	2,843,000		
財源内訳	国庫支出金			2,843,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	0	0	2,843,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実し、生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 性質上、行政が必要である。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	保健衛生用品の充実により、令和2年6月に学校を無事再開することができた。また、その後も安全・安心な学校生活を推進することができた。
令和3年度以降の方向性	感染症対策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図ります。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要性がある。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--